

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	世羅町立せらにし小学校
-----	-------------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

学校教育目標を、「自ら学び、たくましく生きる」とし、ふるさとを誇りにもち、自分を愛し、夢を語る児童の育成を目指している。せらにし小校区は、地域との結びつきが強く、学校教育活動に協力的である。地域の方の協力を得て、学校農園「つばきっ子ふれあいファーム」を運営し、農業体験に取り組んでいる。学校給食への地場産物の活用も高く、広島県産活用率は 42.6% である。

- ・児童の実態調査から次の点に課題が伺える。

項目	実態	比較（目標値・平均値）
食事の準備や後かたづけの手伝いをしている。	3 年生以上 57%	広島県目標 5 年生 78%
主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている。	5 年生 56%	広島県目標 66%

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

地域・家庭と連携し様々な体験活動を通して感性を育み、自らを管理できる力を育てる食育の推進に取り組む。

学校評価自己評価表で次のように評価指標、目標値を設定した。

評価指標	目標値
食事の手伝いをした児童の割合（保護者アンケート）	70%
バランスのよい朝食を摂取する児童の割合（保護者アンケート）	65%

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組 1】（テーマ） 学校農園「つばきっ子ふれあいファーム」を活用した取組

（1）食育プロジェクトせらにし

企業や農事組合法人の協力者を得て、学校農園「つばきっ子ふれあいファーム」で農業体験を行った。

このプロジェクトの目標と内容は次の通りである。

目標：

- ・作物栽培を通して、地域と関わり、農業について興味・関心を持たせる。
- ・作物栽培を通して、生産の喜びや苦勞を体験させる。
- ・「食」に対して、感謝の気持ちを育む。
- ・ふるさと「せらにし」に興味・関心を持たせ、ふるさとを愛し、誇りに思う心を育てる。

内容：

- ・学校農園を使って作物（さつま芋、とうもろこし、ピーナッツ、かぼちゃ）の栽培をする。
 ・ 植ええ、定植、草取り、収穫、収穫祭を行う。
- ・ 収穫した作物を学校給食や授業で活用する。

活動経過

- ・ 4 月 24 日 植ええ（5・6 年）
- ・ 6 月 1 日 定植（全学年）
- ・ 6 月下旬 草取り
 （今年度より、学年で 1 回は草取りを行うこととした。）
- ・ 9 月 6 日 とうもろこし収穫（4 年）
- ・ 10 月 17 日 収穫（全校）
 収穫したさつま芋は、学校給食や授業に活用した。
- ・ 11 月 30 日 収穫祭



定植

収穫祭にはお世話になった地域の方 11 名の出席を得て、保健委員会の児童による栽培発表、全校合唱、6年生の太鼓演奏を行い、感謝の気持ちを伝えた。また、各学級に分かれ給食を試食して頂いた。

(2) みそ作り

6年生は、仕込んでおいたみその封切りを12月に行い、みそ汁と1食分の調理実習をした。児童は、自分たちで作ったみその味に感動していた。児童の感想は、経験したことにより得られる内容となっている。

5年生は、「つばきっ子ふれあいファーム」で、大豆の栽培、収穫をし、みそ作りに挑戦した。6月に種を植え、12月に収穫、乾燥、1月に選別を行い、2月に世羅町食生活改善推進員の方2名を招聘し、みその仕込みを行った。また、せらにし女性会の協力を得て、防災教育の観点から「みそ玉」作りに挑戦した。使用したみそは6年生が作ったもので、自分たちが仕込んだみそへの興味関心・期待が高まった。



みその封切り

みそ作りをした児童の感想

- ・自分たちで作ったみそを使ってみそ汁を作り、とてもおいしかった。
- ・みそを作るのに、大豆を栽培した。大豆を作るところから食べる所までの大変さがよくわかった。
- ・みそを見たとき、とてもびっくりした。それは、しょうゆみたいな黒い液体があつて、これがしょうゆのもとだと知ったからだ。

【取組2】(テーマ) 基本的な生活習慣の定着と調理体験を増やす取組

基本的な生活習慣の定着を図るため、早寝、早起き、朝ごはんの3点固定に取組んだ。各学期1回1週間、起床時刻、就寝時刻、朝ごはんの喫食の有無、食事内容の調査を行った。保護者の方の関心を高めるため、メッセージの記入欄を設けている。朝ごはんの食事内容は、取組みやすいように、三色(赤・黄・緑)の食品を揃えることを目標に設定した。

また、朝ごはんの内容の充実を図るため、調理の体験を増やす取組を行った。

- ①お手伝いがんばりカード
- ②「ひろしま給食100万食プロジェクト」と「たすきでつなぐ世羅の食育」レシピコンテストへの作品応募
- ③冬休み「わが家の元気みそ汁作り！」校内レシピコンテストに応募
- ④夏休みファミリークッキングの開催

【取組3】(テーマ) たすきでつなぐ世羅の食育事業

世羅町では毎月19日を「たすきでつなぐ世羅の食育の日」と設定し、地域・生産者・学校・給食センターがつながる食育の取組を行っている。「た」は「楽しく食べよう」、「す」は「すすんで作ろう」、「き」は「季節を感じる世羅の食」である。様々な場面で「食育のたすき」をつなげることを目指している。

学校での取組内容

- ・毎月19日は紹介する食材を使ったメニューにする。
- ・旬の食材の指導用資料(町教委から配布)を活用し各学級で指導する。
- ・給食後は、各学級で生産者へのメッセージを書く。(メッセージは給食センターでまとめて生産者へ届ける。)

紹介した食材	
4月	テンペ
5月	アスパラガス
6月	玉ねぎ
7月	じゃが芋
9月	かぼちゃ
10月	キャベツ
11月	白菜
12月	切干大根
1月	人参
2月	みそ
3月	なめこ

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

①保護者・地域に情報発信

夏休みに保護者と共に調理体験をする「ファミリークッキング」のメニューに「ひろしま給食メニュー」を加え、「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について紹介した。また、ひろしま給食の提供日には、せらケーブルテレビを活用し、地域へ情報発信した。放送内容は、5学年の給食時間の指導の様子と世羅町教育委員会職員が取組内容について説明した。



せらケーブルテレビの取材

②資料配布

「ひろしま給食の日」を町全体の取組とするため、指導用資料を作成し、世羅町教育委員会から町内全学校へ配布した。

③献立集に掲載

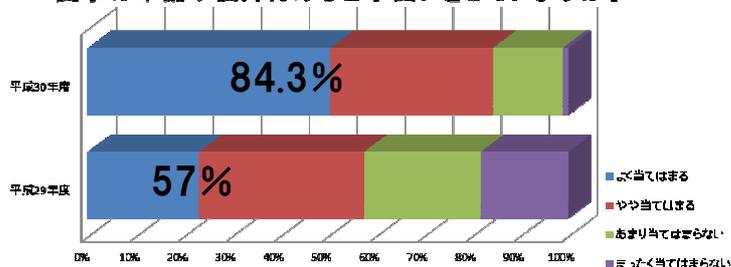
世羅西中学校3年生の卒業のお祝いに「思い出のレシピ集」を作成し配布しているが、その中に、最優秀賞の「オールスター☆担々丼」と朝食リーフレットに掲載されていたメニューを加えた。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

①「食事の準備や後片付けなどの手伝いをしていますか。」の問いに対して、児童対象、昨年度の調査ではよく当てはまる、やや当てはまるの肯定的な回答は57%であったが、今年度は84.3%になった。また、保護者アンケートにおいても肯定的な回答が88.6%となり、成果指標である70%を達成できた。

食事の準備や後片付けなど手伝いをしていますか。



平成30年12月
児童（対象：3～6年生）に対するアンケート結果

②朝ごはん三色（赤・黄・緑）の食材を揃えていると回答した保護者の割合が75.4%となり、目標値65%を達成できた。

③6年生は、昨年度からの「世羅西のおいしさたっぷりみそ汁」の取組を行うことにより、「みそ汁を作ることができる」と肯定的な回答をした児童が100%となった。

④学校目標である「ふるさとへの誇り」を持っている児童の育成では、地域と連携した取組を行うことにより「せらにしが好きだ！」と肯定的な回答をした児童が100%となり、児童一人一人に「ふるさとを愛し、誇りに思う心」が育っている。

【課題】

「食育お手伝いがんばりカード」の取組を通し、お手伝いが定着してきたが、今後は、家族の一員としての意識を持ち、自ら進んで取組む児童の育成を目指す。

6 今後の取組に向けた改善方策について

学校教育目標や食に関する指導の目標を教職員間で意識統一を図りながら進めていく。